

区民の皆さんの 安全・安心を守るために

5月23日、東日本大震災を受けて、
総額約3億6,200万円の緊急の補正予算が、第1回豊島区議会臨時会で成立しました。
災害や電力不足への備えや、被災者を支援するため、様々な施策を行なっていきます。
皆様のご理解、ご協力をお願いします。

安全・安心を
守るため、
助成などを
行ないます

お住まいなどの、耐震化を進めませんか 問 建築指導課 ☎3981-0590

- 住宅などの耐震診断・耐震改修費用を助成(2面参照)
- 緊急輸送道路沿いの建物の耐震診断費用を助成(2面参照)
昭和56年5月31日以前に建てられた、緊急輸送道路沿いの建物が対象です。
- ブロック塀などの改善工事費を助成

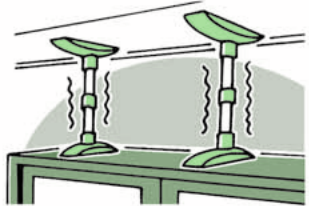
道路沿いの危険な塀の、撤去や改善費用の一部を助成します(区で認定したものが対象です。沿道緑化事業、狭あい道路整備事業の対象になるものは除きます)。



家具転倒防止器具・住宅用火災警報器の 設置費用を助成します

家具の転倒防止器具などの設置が難しい高齢者世帯、障害者、ひとり親家庭へ、シルバー人材センターが設置に伺います。

問 シルバー人材センター ☎3982-9533



中小企業の皆さんへ

- ・ 信用保証料補助の対象を拡大します
- ・ 災害復旧貸付の利子を補給します

震災の影響で売り上げが減少している中小企業や、震災により直接的または間接的被害を受けた事業者が対象です。

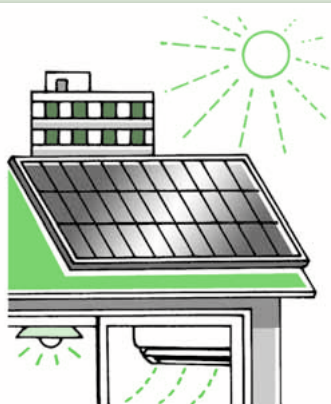
問 生活産業課 ☎5992-7089



エコ住宅で、 夏季の電力制限に 対応しませんか(2面参照)

一戸建て・集合住宅向けの、太陽光発電機器の設置費用を助成します(植物を利用した節電を、6月5日号の4・5面でお知らせしています)。

問 環境政策課 ☎3981-1592



聴覚障害のある方へ、 すばやく地震情報を届けます

区役所や保健福祉センターなどへ、緊急地震速報と連動するパトランプや、LED電光掲示板を設置します。

問 障害者福祉課 ☎3981-1766

区内に避難された被災者を支援します

被災者受け入れ住宅へ、家電など生活用品を整え、社会福祉協議会職員と災害ボランティアが、生活全般の相談を行ないます。

問 社会福祉協議会 ☎3981-2930

大規模災害
に向けて、
取り組みます

- 区有施設の耐震診断を実施し、今後の安全性を確保します
- 区役所分庁舎を移転し、利用者の安全を確保します
- 区の業務継続計画を策定し、地域防災計画の見直しを行ないます
- 被災自治体へ、職員の派遣を続けます



夏の電力不足に備えます～区の対応方針を決定しました～

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故等の影響により、今夏の電気の供給不足が懸念されています。政府は電力需給緊急対策本部を立ち上げ、夏期の電力需給対策を決定しました。

区でも、夏期の電力不足に対応するため、方針を策定しました。今後、これまで以上に、庁舎などの節電の取り組みを徹底しますので区民・企業の皆さんにも、節電へのご理解、ご協力を引き続きお願いします。

☎ 危機管理担当係 ☎ 3981-1467

◆区の基本方針

①基本姿勢

国の電力需給対策にもとづき、業務縮小などの措置を講じながら必要な区民サービスを維持し、様々な工夫により電力利用の削減に努めます。

②電力利用の削減率

区全体として、平成22年ピーク時の最大使用電力の15%を削減します。
※子どもや高齢者の方を対象とする施設の運営や、区民の皆さんの安全

安心の確保について、十分配慮します。

③削減実施期間

平成23年7月1日(金)～9月30日(金)

◆節電の措置にともなう区の対応

①節電の徹底

消灯の拡大、空調温度の適正化、パソコン・プリンターの稼働制限などを行ないます。

②業務の縮小、開館日などの減少

施設の臨時休館日の設定、施設開館時間の短縮、夜間窓口の休止などを行ないます。
詳細は、区ホームページや次号以降の「広報としま」などでお知らせします。

③職員体制の縮小など

ノー残業デーの拡大、クールビズの前倒し実施と期間の延長、計画的休暇取得の実施などを行ないます。

④設備改善

機器の変換、設置などにより、節電を徹底します。

ご存知ですか？太陽エネルギーの活用

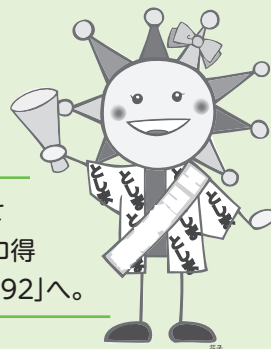
太陽光発電を設置した住宅が停電になった場合、「自立運転機能」に切り替えると、日射量に応じて電気機器が使えます。

■発電した電力は、こんな電源に使えます(曇りや雨の場合は使えないこともあります)

- ラジオの視聴(20W程度)
- 冷蔵庫の待機電力(150～600W程度)
- 電気ポットの湯沸かし(1,000W程度)

非常用コンセントからの出力合計最大は1,500Wまでです。

助成制度の申請、問い合わせについては、事業推進係「エコ得情報カウンター☎3981-1592」へ。



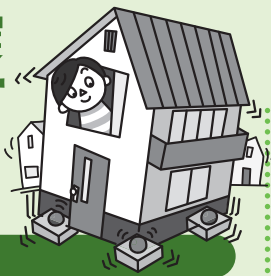
■太陽エネルギー機器導入助成一覧

種 類	助成額
太陽光発電システム	4万円/kW 上限16万円
強制循環式ソーラーシステム	一律5万円
自然循環式太陽熱温水器	一律2万円
集合住宅オーナー向け太陽光発電システム	5万円/kW 上限50万円

[注意] 着工前の申請が必要です。

木造住宅の耐震診断・耐震改修の助成金を増額します

※6月6日から建築指導課、建築審査課、住宅課(一部除く)、マンション担当課は、グレイスロータリービル(東池袋2-60-3)に移転しています。



木造住宅耐震診断 助成制度

◇主な条件…①昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅(専用住宅部分2分の1以上)で2階建て以下のもの ②申請者は建築物の所有者かつ居住者であること ③東京都木造住宅耐震診断事務所登録制度に登録されている診断士が行なうもの ◇助成額…10万円を15万円に増額、耐震診断に係る経費(15万円が限度)
☎ 建築指導課許可・耐震グループ ☎ 3981-0590

木造住宅耐震改修 助成制度

◇主な条件…①昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅(専用住宅部分2分の1以上)で2階建て以下のもの ②現状の耐震診断結果が上部構造評点1.0未満で、耐震改修により1.0以上となるもの ③建築物(塀を含む)が建築基準法上の道路に突出していないもの ④防火構造であるもの、または耐震改修工事により同構造となるもの ⑤申請者は建築物の所有者かつ居住者であること ⑥東京都木造住宅耐震診断事務所登録制度に登録されている診断士が補強設計・工事監理を行なうもの ◇助成額…50万円を100万円に増額、耐震改修工事費の3分の2(100万円が限度)※更に、施工者が区内業者の場合、耐震改修工事費の6分の1(50万円が限度)を上乗せで助成します。☎ 建築指導課許可・耐震グループ ☎ 3981-0590

非木造住宅耐震診断 助成制度

◇主な条件…①昭和56年5月31日以前に建築された木造以外の住宅(専用住宅部分2分の1以上) ②申請者は建築物の所有者かつ居住者であること ◇助成額…耐震診断経費の3分の2(20万円が限度) ☎ 建築指導課許可・耐震グループ ☎ 3981-0590

緊急輸送道路等沿道建築物耐震診断 助成制度

◇主な条件…①昭和56年5月31日以前に建築された緊急輸送道路沿道の建築物で建築物の高さが接する緊急輸送道路の中心からその部分までの距離を超えるもの ②建築確認通知図書および耐震診断に必要な図書が整っていること ◇助成額…耐震診断経費の3分の2(100万円が限度) ☎ 建築指導課許可・耐震グループ ☎ 3981-0590

緊急輸送道路等沿道建築物耐震改修 助成制度

◇主な条件…①昭和56年5月31日以前に建築された緊急輸送道路沿道の建築物で建築物の高さが接する緊急輸送道路の中心からその部分までの距離を超えるもの ②耐震改修工事により構造耐震指標I_s値(※)が0.6以上になるもの ◇助成額…耐震改修工事費の3分の1(1千万円が限度)
☎ 建築指導課許可・耐震グループ ☎ 3981-0590

耐震シェルター等設置 助成制度

◇主な条件…①都の推奨する耐震シェルター・耐震ベッドを設置する工事であること ②昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅に設置すること ③世帯全員が65歳以上または身体障害者(2級以上) ④世帯の所得額の合計が200万円以下 ◇助成額…設置工事経費の10分の9(30万円が限度)
☎ 建築指導課許可・耐震グループ ☎ 3981-0590

分譲マンション耐震診断 助成制度

◇主な条件…①昭和56年5月31日以前に建築された分譲(区分所有)マンションで、3階建て以上のもの ②建築確認通知図書および耐震診断に必要な図書が整っていること ③申請者は管理組合の代表 ◇助成額…耐震診断経費の3分の2(100万円が限度) ☎ マンション担当課 ☎ 3981-1385

分譲マンション耐震改修 助成制度

◇主な条件…①昭和56年5月31日以前に建築された分譲(区分所有)マンションで、3階建て以上のもの ②耐震改修工事により構造耐震指標I_s値(※)が0.6以上になるもの ③申請者は管理組合の代表 ◇助成額…耐震改修工事費の23%(1千万円が限度) ☎ マンション担当課 ☎ 3981-1385

(※)建物の耐震性を示す指標。地震力に対する建物の強度や靱性(変形能力、粘り強さ)などによる。いずれも詳しくは問い合わせてください。

建築士による耐震相談臨時窓口を開設します 予約制

6月22日(水) 午前9時30分～午後3時 区役所本庁舎地下1階第4会議室

東京都建築士事務所協会豊島支部による、耐震化臨時相談窓口(建築一般相談も受け付けます)

☎ 事前に電話で「株」小山設計 ☎ 3984-2448」へ。

☎ 建築指導課許可・耐震グループ ☎ 3981-0590

東日本大震災の被害者の方を支援しています

■義援金を村井宮城県知事、勝部一関市長へ高野区長から手渡しました。

皆さんからお預かりした義援金を、県知事、市長へ手渡しました。

●5月11日 宮城県(相互交流宣言都市) 3,500万円 ●5月12日 茨城県常陸大宮市(防災協定都市) 100万円
●5月11日 岩手県一関市(防災協定都市) 100万円 ●5月16日 栃木県那須烏山市(防災協定都市) 200万円
また、右記へもお送りしました。 ●日本赤十字社 563万4,365円

■東日本大震災義援金へのご協力ありがとうございます

「東日本大震災義援金申請書」にご記入いただいた方々の、お名前・金額を掲載します(5月17日現在。五十音順、敬称略)。なお、区施設に設置している「東日本大震災義援金募金箱」にも、多くの方々から義援金が寄せられています。

青葉会(33,000)
上り屋敷町会(50,000)
あすなろガーデニングクラブ会員一同(30,000)
天野明雄
有田晴至(10,000)
有田祐子(10,000)
池三商店街(150,000)
池袋スポーツセンター(49,804)
NPO法人いけぶくろ大明(24,965)
池袋第二小学校教職員・児童他(90,390)
池袋通西睦町会(250,000)
池袋西口公園古本まつり(31,534)
池袋西口商店街連合会(100,000)
池袋東口親和町会(10,000)
池袋本町一丁目町会(700,000)
池袋本町末廣町会(100,000)
池袋本町宮元町会(100,000)
池袋ロマン通り商店会(50,000)
(株)魚友(25,350)
うさぎ(30,000)
浦田とし子(20,000)
エコー歌謡麻の会(59,984)
エコー・ド・バレエ・Yuko(12,907)
(株)江戸半(20,000)
江畑マル
お岩通り商店会(100,000)
大塚駅南町会(629,171)
大塚商興会(100,000)
折戸協和町会(200,000)
オレンジマート大倉お客様・従業員一同(174,059)
要町一丁目町会(367,000)
要町一丁目町会青年会(30,000)
要町三丁目町会(100,000)
金子達昭
上池袋池八町会(450,261)
上池袋三丁目町会(200,000)
上池袋町会(1,434,361)
上池袋東雲町会(200,000)
亀屋お客様一同(33,394)
川口家(200,000)
韓国民団豊島支部(200,000)
ガーデンコンサート出演者一同(15,426)
岸慎紀(10,000)
北大塚一丁目睦町会(100,000)
旧池袋東口中央町会役員有志(30,000)
旧千川小学校利用者協議会地元有志一同(64,881)
(有)ワボタ測量事務所(20,000)
区民ひろば椎名町運営協議会(7,319)
区民ひろば高松足つばストレッチ(10,000)
区民ひろば高松緑の会(50,000)

区民ひろば高松みのり体操(20,000)
くろしお池袋店(54,598)
建設豊友会(100,000)
NPO法人芸術教育研究会(100,000)
劇団ムジカフォンテ(34,014)
庚申塚商栄会(144,500)
庚申塚町会(40,000)
庚申塚町会婦人部(70,000)
高南小学校PTA(201,103)
小林清明(30,000)
コ・ファボリート(3,600)
駒込小学校代表委員会(52,618)
駒込中学校22年度卒業生保護者一同(74,917)
駒込六丁目東文化会青年部(15,000)
齋藤ちか子(10,000)
菜処さかまき有志(32,000)
(株)佐伯設備工業(200,000)
さくら小学校児童一同(71,434)
サンドラ大塚(57,347)
在日大韓婦人会東京豊島支部(124,000)
椎名町小学校児童会(273,041)
しいなまちみとら(NPO法人ライフデザイン)(311,954)
篠田孝哉(10,000)
シャイニングコーポレーション(100,000)
(株)新都市情報システム(100,000)
新田商工会(100,000)
菅井昭雄(30,905)
菅井和夫
巣鴨一丁目町会(100,000)
巣鴨カラオケ会(36,000)
巣鴨三・四丁目清和町会(100,000)
巣鴨地藏通り四丁目の環境を守る会(89,409)
巣鴨四丁目協和町会(100,000)
西部地区夏まつり実行委員会(670,238)
NPO法人ゼファー池袋まちづくり(100,000)
NPO法人ゼファー池袋まちづくりアイポイント
(社)全日本不動産協会豊島文京支部(1,000,000)
染井よしの町会(638,789)
雑司が谷一丁目町会(100,000)
雑司が谷一丁目東部町会(200,000)
雑司が谷三丁目町会(30,000)
雑司が谷七福神の会(100,000)
雑司が谷二丁目町会(100,000)
大正大学(1,000,000)
高砂長寿会(50,000)
高田一丁目町会(522,089)
高田三丁目町会(110,700)
高松二丁目町会(1,350,000)
高山電気商会(10,000)
第一地区区政連絡会(170,000)

第五地区区政連絡会(110,000)
第三地区区政連絡会(150,000)
第十一地区区政連絡会(50,000)
第十地区区政連絡会(120,000)
千登世橋中学校生徒会(188,859)
千早一丁目町会(300,000)
千早三丁目町会(609,600)
千早二丁目町会有志(1,068,602)
東京商工会議所豊島支部(100,000)
東京都電気工事工業組合豊島地区本部(50,000)
東京防犯健全協力会(1,000,000)
常盤興業(株)(100,000)
徳力建設工業(株)(43,512)
NPO法人としまNPO推進協議会(88,763)
豊島管友会(200,000)
(社)豊島区医師会(500,000)
豊島区音楽サークル連盟(80,022)
豊島区観光協会(300,000)
豊島区ゴルフ協会(175,000)
豊島区小学校長会(220,000)
豊島区商店街連合会(1,704,106)
豊島区青少年育成委員会会長一同(12,000)
豊島区町会連合会(500,000)
豊島区伝統工芸保存会(37,000)
豊島区鍼灸按摩マッサージ指圧師会(60,000)
豊島区舞踊連盟(100,000)
豊島区民踊連盟(100,000)
(医)豊島健康診査センター(25,420)
としま女性会役員一同(100,000)
豊島水友会(200,000)
豊島建物管理協同組合(50,000)
豊島電友会(300,000)
豊島土木防災協会(100,000)
(社)豊島法人会(100,000)
豊島優良申告法人会(150,000)
戸張真克(10,000)
中村元治(30,000)
長崎三丁目町会会員一同(100,000)
長崎二丁目町会(100,000)
長崎四丁目町会(300,000)
西巣鴨新田町会(100,000)
西巣鴨新田百壽会(61,200)
2011江戸の花さくらそうフェア実行委員会(63,289)
博峰会(17,551)
早戸賢二(10,000)
東池袋五丁目東町会(698,189)
東池袋五丁目本町会(195,380)
東目白坂下睦会(50,000)
東目白自治会(100,000)
東目白本町会(30,000)

(有)ヒルマ薬局(27,486)
(株)ピーウォッシュ社員一同(84,000)
フジケン協力会(102,000)
古屋邦夫
豊彰会理事一同(300,000)
豊成小学校児童会(72,408)
星野龍(3,000)
細萱貴子
本田實恵子(300,000)
ボイシャキメラ運営委員会(1,002,700)
正木泰裕
増田文博(30,000)
(有)マルシモ(500,000)
神興愛好会城北連合(48,135)
南池袋一丁目町会(461,000)
南池袋二三四町会(587,200)
南大塚一丁目南町会(100,000)
南大塚一丁目宮若町会(10,000)
南大塚自治会
南大塚東南町会(100,000)
南大塚二丁目北町会(50,000)
南長崎五丁目町会(442,675)
南長崎二丁目町会(30,000)
南長崎四丁目町会(200,000)
南長崎六丁目町会(232,137)
宮仲町会(194,151)
むつみ芳寿会(91,810)
明治大学校友会(17,610)
目白協和会有志(100,000)
目白小学校旧六年生有志一同(154,811)
目白小学校ボランティア委員会(195,859)
柳下会(10,000)
吉岡辰義(10,000)
臨済宗日本佛光山国際佛光会東京協会(1,000,000)
Y&Y倶楽部(5,000)
和田眞武(10,000)

現在も義援金を受け付けています

【受付場所】
総務課総務係(区役所本庁舎3階)、
東西区民事務所、中央図書館、各地域区民ひろば
☎総務課総務係 ☎3981-4451



▲村井宮城県知事
(右)と高野区長



▲勝部一関市長(左)と高野区長

募金活動 (4,110,854)

豊島区観光協会、立教大学、帝京平成大学、大正大学、東京商工会議所豊島支部、豊島法人会、豊島産業協会、池袋西口ロータリークラブ、豊島東口ロータリークラブ、池袋西口商店街連合会、豊島立教会、ゼファー池袋まちづくり、ふくろ祭り協議会、法明寺、(株)エコ・シティ、(公財)としま未来文化財団

(カッコ内は金額です)

東日本大震災へ対応を続けています

●3月11日

- ・区内情報の収集・発表
- ・本庁舎、公会堂、区民センター、勤労福祉会館、小・中学校(13校)で帰宅困難者受け入れ
- ・保育園や学童クラブの児童引き渡し対応
- ・区立小・中学校で児童・生徒の引き渡し対応

●3月12～17日

飲料水など救援物資を、一関市、常陸大宮市、那須烏山市、猪苗代町へ搬送

●3月15日

臨時被災相談窓口、義援金受付窓口の設置

●3月24～27日

乳児(0歳児)へ飲料水を配付

●3月31日

- ・乳児の保護者へ、安心を呼びかける手紙を送付
- ・被災地へ職員の派遣を開始

●4月6、22日

被災地へ再生自転車を寄贈

●4月7日～5月12日

被災者受け入れ住宅の公募と入居開始

●5月8日から

一関市に職員を継続して派遣

※3月25日 一関市、4月1日 (株)秩父源流水(秩父市)、
4月5日 魚沼市から、飲料水をいただきました。



◀被災地へ
再生自転車を寄贈



▲被災地を視察



▲震災当日の庁舎ロビー



▲区民の方々からの支援物資

特別
対談

新庁舎の地震対策を語る

ろくしかまさ はる
(株)日本設計代表取締役社長 六鹿正治氏 × 豊島区長 高野之夫

3月11日の東日本大震災やその後の計画停電により、新庁舎の耐震性や災害時における庁舎機能の維持などに、区民の皆さんの関心が高まっています。新庁舎が入る南池袋二丁目の再開発建物の設計を統括する、(株)日本設計代表取締役社長 六鹿正治氏と高野区長が、こうした問題について語り合いました。

東日本大震災を踏まえて

区長●まずは、この度の東日本大震災により被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

未曾有の大災害となった東日本大震災は、我々に計り知れない自然の力の恐ろしさと、近い将来起こるであろう首都圏を襲う地震に対する備えが、いかに大切かを教えてくれました。

私たちが一生に一度遭うか遭わないかわからないような、今回の大震災を目の当たりにして、区民の皆さんから「新庁舎は大地震が来ても大丈夫か」と良く聞かれます。地震対策について専門的な立場から、教えてください。

六鹿●地震対策で一番重要なことは、建物本体が壊れないということですが、新庁舎は、免震装置により地震力を吸収して、耐震性を向上させる計画としています。関東大震災級の直下型の大地震が来ても、本体が損傷を受けないよう設計しています。

さらに、最近、超高層建物に対して心配されている長周期地震動も、対策を先取りして構造計画を行なっています。したがって、関東大震災のような直下型の地震や、今回のような海溝型の巨大地震のいずれに対しても十分な検討を行ない、対策を講じています(下記「層間変形角図」参照)。

区長●今回の地震でエレベーターが故障した例もあるようですが。

六鹿●庁舎のエレベーターは、耐震性の高い造りとなっていますが、そのうちの何台かは、さらに耐震性能を高め、巨大地震が来てもエレベーターが故障で1台も動かないといった状況を回避できるよう、検討しています。

また、停電時でも何台かは非常用電源で動かすことが可能ですので、災害対策本部として十分機能する造りになっています。

高層のマンション部分のエレベーターも、耐震性の確保はもちろんのこと、非常用電源により停電時でも利用可能な計画としています。

区長●非常時の電気の重要性を今回痛感しました。電力不足も今後すぐには回復しない可能性がありますし、通常時の停電も考えられますが。

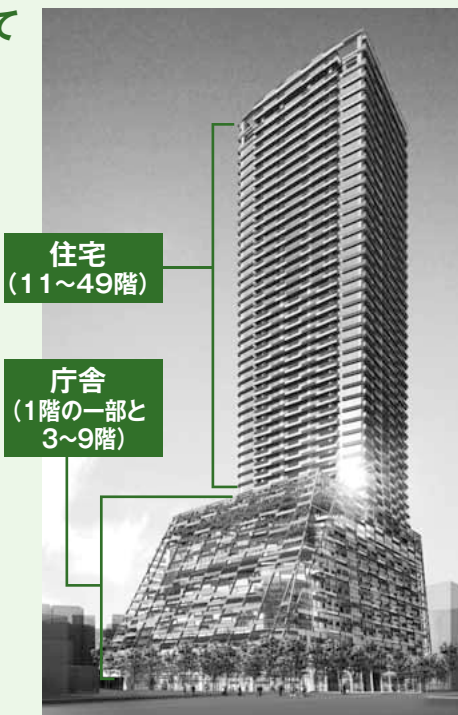
六鹿●非常用発電設備については、現在72時間対応のオイルだきガスタービンを計画しています。これは、これまでの常識では十分な仕様ですが、平常時の設備がすべて使用できるわけではありません。庁舎で言えば、防災指令本部機能をはじめ、他に何を生かすべきなのかを具体的に洗い出し、計画に反映します。

環境・エネルギー対策

区長●今回の震災の影響で、これからますます自然エネルギーの必要性が高まりますが、新庁舎の環境・エネルギー対策はいかがですか？

六鹿●今回、外壁に“エコヴェール”と名づけたパネルを取り付けていますが、その“ひさし効果”によって建物の熱負荷を低減しつつ、太陽光発電、緑化、防風、目隠しといった様々な機能を持たせています。屋上の“豊島の森”の緑と水も、建物の熱負荷を大幅に低減しています。太陽光発電パネルは、通常時はもとより非常時にも電力の供給が可能です。さらに自然採光、自然通風といった自然エネルギーの直接利用を図ると同時に、LED照明をはじめとする最新省エネ技術を採用しています。

環境対策モデルとなる新庁舎▶



エコヴェールで覆われた建物の外観



六鹿社長(右)と高野区長

新庁舎は、これら自然エネルギー利用と省エネ技術の導入によって、全体エネルギー使用量の30%を削減しています。

建物全体の安全性について

区長●新庁舎は民間マンションと一体の建物ですので、マンション部分の地震対策も重要ですが。

六鹿●庁舎とマンションの防災計画は双方独立していて、お互いに影響し合わない計画としています。

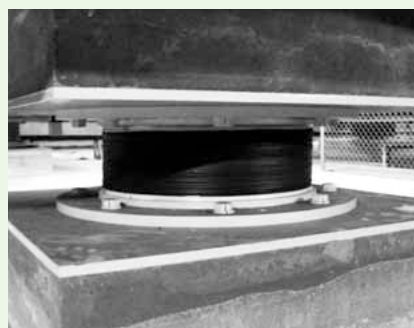
繰り返しになりますが、マンション部分も免震構造により、揺れ自体が小さくなります。また、家具なども固定できるように考えています。マンション内には、倉庫を設け、水や非常用食料などを備蓄する計画になっています。災害時にもマンション内にとどまることができる設計としています。

建物自体も、耐震性を含め最高レベルの設計強度で行なっているので、100年は十分に持つ長寿命建築です。

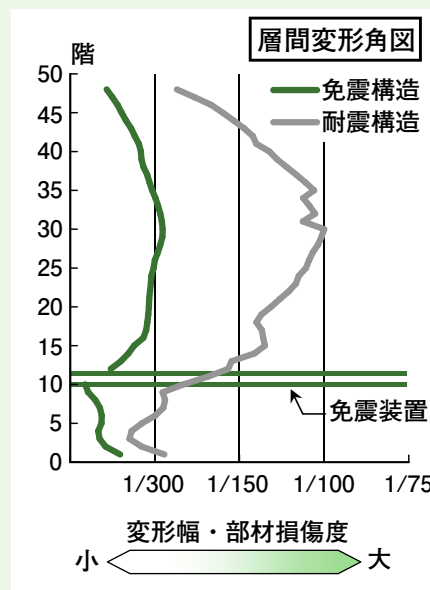
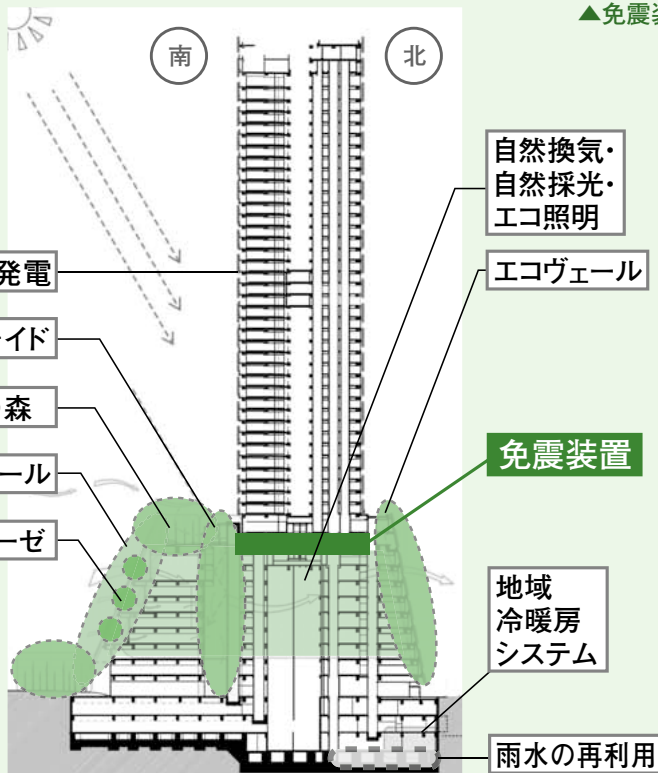
区長●新庁舎の完成までに大きな地震が来ないことを祈りながらも、それまでの間の災害時対策を可能な限り実施しなければならないと痛感しています。

先日、再開発組合が入札を行ない、施工者が大成建設(株)に決まりました。いよいよ工事に入っていくわけですが、日本設計も大成建設もそれぞれの分野で日本を代表する会社ですので、その技術力を十分活かして取り組んでもらいたいと思います。

今日は、専門的な立場からお話を伺い、安心いたしました。どうもありがとうございました。



▲免震装置に組み込まれる積層ゴムとオイルダンパー



▲免震構造により、耐震構造の建物に比べ各階の変形幅が1/2~1/3に軽減される